



A R T

All Rikkyo Tennis

立教大学体育会庭球部部報

発行所
立教大学体育会庭球部
〒171 豊島区西池袋3丁目
電話 (3985) 2680
発行人 西口弘利

頑張れ立教テニス!!

— 即三部復帰へ再スタート —



ひたむきに練習に励め

庭球部長 伊藤 謙哉

本年も立教大学庭球部部報発行の時節となりました。OBの皆様方には、常日頃、お忙しい中を、物心両面にわたり庭球部学生のため御指導、御支援頂き、心から感謝致して居ります。その皆様方に、このART8号によってリーグ戦の不本意な成績をお知らせしなければならぬことを誠に申し訳なく、遺憾に存じて居ります。昨年三部に落ちたことで部員一同奮起して練習を積み重ね、即三部復帰を目指して努力した結果が連続降格という事になってしまいました。部長として誠に大きな責任を感じて居ります。伝統ある本学庭球部において、かつてなかったこの苦い経験を部員一人一人が真剣に考え、来年の二部復帰を、これからの一集して、心技体のひたむきに練習にものと確信して居

昨年四月に新座キャンパスが開校、テニスコート六面は体育会学生が優先的に使用出来、富士見、新座、池袋の三つの場所で練習が展開出来るようになったことは部にとっても大きなプラスです。学生諸君がこれらのコートでどんどん積極的に監督コーチの方々の胸を借りて腕を磨いて行くよう私も指導して行きたいと存じて居ります。

発刊にあたって

庭球部OB会長 田中 富弥

誠に残念なことに、現役は四部に降格してしまいました。常日頃、御支援を頂いて居りますOBの皆様には申し訳なく存じています。今後は、この苦い経験から、来年三部復帰を祈りながら、何卒引き続き宜しくお願い致します。

全部員の力で再挑戦を

庭球部副部長 栗原 謙二

この一年間、庭球部の試合や練習に出来るだけ出かけるように努めて、応援して来ましたが、学生達が最も力を注いだリーグ戦で、残念ながら期待した結果が得られませんでした。日頃学生達に最も近い場にいる者として、その責任を強く感じ、OBの皆様には大変申し訳なく思っています。

この一年間を振り返ってみますと、まず思い出すのは部員一人一人の練習姿です。春夏秋冬の各休み、年末、正月、期末試験直前等々、キャンパスに他の学生がいない時にも、誰か知らぬ学生がいた時にも、誰か知らぬような記憶があります。来年に向けてはそれらの経験を踏まえて、さらに練習に励んで欲しいと期待しています。リーグ戦の各試合で、あつかわか1ゲームポイントが取れないために苦しい対戦の連続になったことをぜひ克服して欲しいと思っています。

リーグ戦を振り返り

監督 倉光 哲

小西監督よりバトンタッチをし早々に四部降格という不名誉な結果に終り、監督として責任を痛感致して居ります。確かに大学テニス全体のレベルが昔より上がり又、他校の力のグレイドアップなどで、推薦入学制度皆無の我々は、近年苦戦を強いられて参りましたが、まさかの四部降格という最悪の結果になってしまいました。現場を預る私の眼から見ると、今から一年前に来年のリーグ

グ戦は今の戦力からすると苦戦必至ということで、長期計画で戦力アップを手がけてきました。しかし、現役は本当に一生懸命やってくれたと思います。特に増田主将を中心とした四年生の努力と頑張りには非常に評価出来るものだと思います。

来年の四月に向け新たな再出発をするわけですが、三部、四部の他校の来年の戦力分析からしますと三部復帰の可能性は充分にあります。来年のリーグ戦に向けての課題と又、今後の立教高校テニス部との合同練習を週二日はやって行こうという問題も実現の方向に向っております。幸いなことに新一年生が十一人入部してくれたという事もあり、規律の中の明るいやういのある入部し易い部という事に改革、努力してきた結果ではないかと思われまます。

現役は四部には落ちましたが張り切って毎日練習に励んでいます。これは伝統ある立教テニス部の一員であり又、多くの素晴らしいOBの方々の暖かい激励と注目があるからだと思はれています。来年は必ず三部に現役と共に復帰させます。OBの方々の御協力を心からお願い致します。

平成三年度関東大学テニスリーグ第三部結果

	本学	順天堂	上智	学習院	成城	帝京	勝点	ポイント	失セット	順位
本学	×	×	×	×	○	1	17	59	5	
順天堂	○	×	×	×	○	4	31	32	1	
上智	○	○	×	×	○	2	18	61	4	
学習院	○	○	○	×	○	4	29	39	2	
成城	○	×	○	○	○	4	27	41	3	
帝京	×	×	×	×	×	0	13	70	6	

平成三年度年間予定表

9月	8月	7月	6月	5月	4月
夏合宿	夏季関東学生テニス選手権	全日本学生テニス選手権	OB総会	新入生歓迎会	リーグ戦
3月	2月	1月	12月	11月	10月
リーグ戦合宿		納会	合同練習会	明立定期戦	同立定期戦
					新進テニス選手権

平成三年度

関東大学テニスリーグ結果

リーグ戦結果

第一戦

四月二日

於 立教大コート

本学 6 D211 3 帝京大 S412

一年の総決算であるリーグ戦が、遂に始まった。第一戦は、今後の試合に良い方にも悪い方にも響くので、チームが一体感を持って試合に臨もうと全員で誓った。

最初、ダブルスでは両校ともリードして波に乗りたいたところなので、非常に盛り上がった試合となった。そして一対一となってNO、3が最後に残った。互いの意地がぶつかり合ったが、

本学は地力の差を見せて勝ち、勝負を二対一とした。

シングルスに入る前に、倉光監督に喝を入れて頂き、部員はより一層に一体感を増して試合に臨むことができた。このシングルスは、順当に力の差を見せてポイントを挙げ、NO、3の片岡が勝った時点で本学は勝利を決めた。結局六対三で本学が帝京大学を下した。この試合は余裕を持って、常に本学がリードした展開であった。このままのムードで最終戦まで行けば、満足いく成績が収められるだろうと思われる一戦であった。

四年 足立充生

第1戦

		本学 vs 帝京大学			
複	No.1	○	増田・相見	6-2, 6-3	笠原・古里
	2		斎藤・片岡	6-3, 4-6, 5-7	清水・原田
	3	○	足立・金子	2-6, (7-6)(7-2) 6-2	橋本・岡部
単	No.1	○	増田哲也	6-1, 6-0	佐藤信哉
	2	○	片岡聡	6-2, 6-4	橋本隆昌
	3		斎藤仁丸	4-6, 1-6	清水健一
	4	○	金子誠	3-6, 6-1, 6-2	岡部涼太
	5	○	足立充生	6-3, 6-0	原田順二
	6		保泉敦	4-6, 4-6	笠原英男
		6	複単	2-1 4-2	3

第二戦

四月四日

於 立教大コート

本学 3 D112 6 成城大 S214

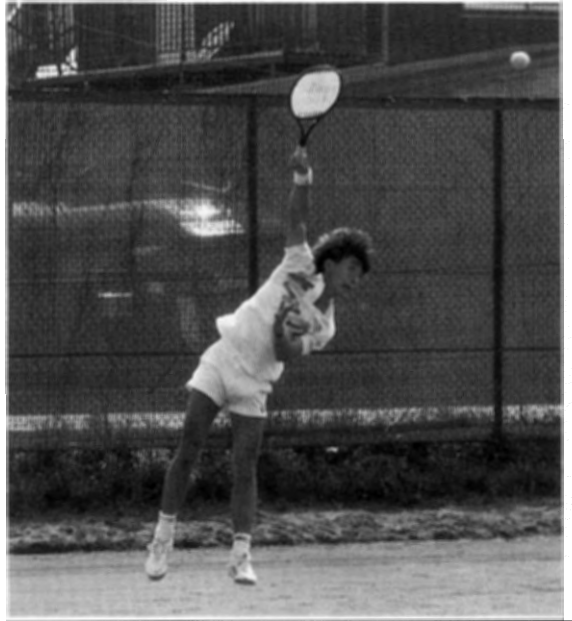
帝京大学との第一戦が雨のため一日流れ、中一日で成城大学との第二戦に臨むこととなった。帝京戦に勝った本学にとってとりあえず早く二勝をあげて今後楽に戦うために、この成城戦は是非勝っておきたかった。

ダブルスが一勝二敗で折り返すこととなり、苦戦を強いられしたが、まだまだ勝てると思っていた。NO、1の増田まで継ぎは必ず勝ってくれると信じていたからだ。私だけではなく、部員全員がリーグ戦中いつもそう思っていたに違いない。そのような期待からくるプレッシャ

1をものともせず試合に臨む彼は立派であった。

私は三年生のときに入部したため、このリーグ戦は、審判台の上からの応援となった。体育会庭球部の部員となって間もない私であったが、心からチームの勝利を望んでいた。入部した最初のときは、自分ももっとテニスがうまくなりたいという思いだけだったが、いつの間にか立教の二部昇格が頭の中で一杯になっている自分に気がついた。結果は、増田に継ぐこともできず、二対六で敗戦が決定してしまっただけで、最後に残った増田の試合を、立教大学体育会庭球部の部員としてここに居られる喜びをかみしめながら、力一杯応援した。

四年 内田 渉



第2戦

		本学 vs 成城大学			
複	No.1		増田・相見	6-3, 4-6, 2-6	片山・吉原
	2	○	斎藤・片岡	6-2, 6-2	安達・西村
	3		足立・金子	5-7, 1-6	広田・鷺田
単	No.1	○	増田哲也	6-2, 6-1	安達建之
	2		深澤伯亮	2-6, 0-6	鷺田武史
	3		斎藤仁		隆浩
	4		片岡		登支彦
	5		足立充		徳浩
	6	○	金子		徹
		3	複単	2-4 4-2	6

第三戦

四月十一日

於 立教大コート

本学 3 D211 6 学習院 S115

雨で順延していた学習院大戦。私はこの順延中に先に行われた帝京大戦、成城大戦を振り返り、反省すべき点、良かった点などをじっくり考えることができた。

ダブルスの相手は、目下私が目標としている関東学生ペアであった。私は強い相手と試合が出来ることを嬉しく思い、沸き上がる闘志で体が一杯になった。ダブルスの試合前には、一球一球集中しよう、無理せず出来ることだけやろう、どんな球でも喰らいつこう、三原則を守ろう...などを心の中に刻み込んだ。また、絶対に勝てる、自分は上手いんだ、自分出来る

んだ...と自分に言い聞かせた。

試合が始まり、3ゲームとたたないうちにもめごとが起こり中断があったが自分の心は落ち着いて居り、すぐに気持を入れ換えることが出来た。逆に相手は集中を欠き、そこにつけ込んでいつの間にはマッチポイントを握り、そして金星を挙げることができた。

シングルスは、ただひたすらボールを返すことを心がけたが、あと一歩の詰めのため負けてしまった。

全体のスコアは、ダブルス2対1で折り返したにもかかわらず、シングルス1対5と逆転されてしまった。ここに今の立教の精神的な弱さがさらけ出されたと思う。今後これを克服すべく練習に励むべきであろう。

二年 相見典祐



第3戦

		本学 vs 学習院大学			
複	No.1	○	増田・相見	6-3, 6-3	中村・星野
	2		斎藤・片岡	3-6, 4-6	三根・藤原
	3	○	足立・金子	6-4, 6-3	鈴木・増橋
単	No.1		増田哲也	3-6, 6-7 (2-7)	三根弘毅
	2		片岡聡	2-6, 2-6	藤原誠
	3		金子誠	3-6, 4-6	中村大介
	4		相見典祐	3-6, 4-6	増橋慶一郎
	5		斎藤仁丸	0-6, 3-6	星野基和
	6	○	足立充生	6-0, 6-4	鈴木優介
		3	複単	2-1 1-5	6

第4戦

本学 vs 上智大学						
複	No.1	○	増田・相見	6-3, 6-4	上野・望月	
	2		斎藤・片岡	5-7, 2-6	田代・黒木	○
	3		足立・金子	3-6, 6-3, 2-6	佐藤・平林	○
単	No.1		増田哲也	7-5, 4-6, 4-6	安斉 爽	○
	2		片岡 聡	1-6, 3-6	田代 秀樹	○
	3	○	金子 誠	6-2, 6-3	上野 昌哉	
	4	○	斎藤 仁丸	6-1, 6-0	黒木 真	
	5	○	保泉 敦	6-2, 4-6, 6-1	平林 竜介	
	6		足立 充生	0-6, 6-3, 1-6	佐藤 直	○
			4 複単	1-2 3-3	5	

第 四 戦
四月十日
於 上智大コート
本学4 (D1-2) 5 上智大 (S3-3)

四月十日、この日私達はリーグ戦第四戦、上智大学戦を迎えた。学習院大学戦は雨で延期されていたので、これまでは一勝一敗であった。この上智大学戦に勝てば下部校との入替戦にからずすむ、と考えたのは私だけではない、元気をだせよ、と皆をばねましている姿は立派だった。全員で残りの試合は絶対勝つと誓った。

下級生は落ち込んでいたが、それ以上に辛いはずの四年生がそんな素振りを見せず、「次に勝てばいい、元気をだせよ」と皆をばねましている姿は立派だった。全員で残りの試合は絶対勝つと誓った。

三年 片岡 聡

最終戦

本学 vs 順天堂大学						
複	No.1		増田・相見	0-6, 1-6	佐々木・江川	○
	2		斎藤・片岡	4-6, 4-6	秋元・中山	○
	3		足立・金子	4-6, 5-7	久松・瀬沼	○
単	No.1	○	増田哲也	6-0, 6-0	白井 宣沢	
	2		斎藤 仁丸	0-6, 0-6	柴 知数	○
	3		片岡 聡	1-6, 2-6	佐々木 洋二	○
	4		金子 誠	1-6, 3-6	江川 章夫	○
	5		保泉 敦	0-6, 1-6	高橋 徹	○
	6		足立 充生	3-6, 4-6	瀬沼 聡志	○
			1 複単	0-3 1-5	8	

最 終 戦
四月十三日
於 順天堂大コート
本学1 (D0-3) 8 順天堂 (S1-5)

試合前日、私達は午前練習を終えてから、千葉の成田へ向かった。成田の宿舎では全員で翌日の試合の対策、作戦を話し合い、全員一丸となって相手を倒すことを誓った。

そして当日、いよいよ最終戦である。これに勝てば入替戦は免れたことは事実であるが、それよりも目の前の相手に勝つということに私達は集中していた。ダブルスの試合が始まった。実は試合前、曇り空にもかかわらず、相手はコートに水を撒き、緩いコートサーフェスを作っていた。そこで相手はドロップボレーを多用する等、自分達のペ

ースで試合を進めるのである。この情報は前日のミーティングで話し合い、頭の中に入れていた。しかし試合は相手ペースで進みNO3の足立・金子組の粘りにもかかわらず、結局0-3となってしまった。

ここで何とかしなければならぬ、しかしシングルスでの試合に入っても相手有利に進む。増田主将は完璧な試合運びで相手を圧倒したが、この勝利は単複を通じての唯一のポイントとなっていました。

これで入替戦をすることに決めたのだが、今日の試合を反省しつつ、次の試合は何としてでも勝つと全員で誓った。

四年 西口 弘利

入替戦

本学 vs 成蹊大学						
複	No.1	○	増田・相見	3-6, 6-3, 6-2	谷口・大澤	
	2		斎藤・片岡	4-6, 6-4, 2-6	島崎・柴田	○
	3		足立・金子	4-6, 3-6	前田・千明	○
単	No.1	○	増田哲也	7-6, (7-4) 6-4	前田 真宣	
	2	○	片岡 聡	6-7 (1-7), 6-4, 6-3	柳 沢 宏	
	3		斎藤 仁丸	4-6, 3-6	島崎 洋一郎	○
	4		金子 誠	4-6, 7-5, 5-7	千明 謙造	○
	5	○	足立 充生	6-2, 7-5	谷口 克弘	
	6		保泉 敦	6-3, 4-6, 4-6	柴田 勝則	○
			4 複単	1-2 3-3	5	

め、中断となりました。翌日になり、結局シングルスは三対三で惜しくも敗れてしまいました。この試合をはじめ、他のリーグ戦五試合すべてを通して本学は決して技術的には劣っていたとは思えません。むしろどの大学よりも優っていたと思います。ただ心の面が弱かったのだと思います。つまり、自分のプレーではなく、自分の試合にかかっている立教のポイントに気が行ってしまったという感じでした。責任感からくるプレッシャーによってこのような結果を生んでしまったということです。今となっては、どんなに後悔しても結果は変わりません。来年に向け、さらに強い精神力を鍛えるべく日々の練習を行うのみだと思えます。

三年 大須賀 将徳

入 替 戦
四月十八、十九日
於 立教大コート
本学4 (D1-2) 5 成蹊大 (S3-3)

四月十八日、本日は四部リーグ二位の成蹊大学との入替戦です。三部リーグで一勝四敗と負け越し、五位となってしまった我が立教大学は、この入替戦に全員一丸となって決死の覚悟で臨みました。

しかし、相手の成蹊大学は以前の対抗戦で学習院大学に土をつけてしまう程の実力があり、又、追う者と追われる者との立場の違いもあり、誰も口には出しませんが、少なからずプレッシャーを感じていました。

ダブルスが二対二で終わり、シングルス途中で雨が降り始

め、中断となりました。翌日になり、結局シングルスは三対三で惜しくも敗れてしまいました。この試合をはじめ、他のリーグ戦五試合すべてを通して本学は決して技術的には劣っていたとは思えません。むしろどの大学よりも優っていたと思います。ただ心の面が弱かったのだと思います。つまり、自分のプレーではなく、自分の試合にかかっている立教のポイントに気が行ってしまったという感じでした。責任感からくるプレッシャーによってこのような結果を生んでしまったということです。今となっては、どんなに後悔しても結果は変わりません。来年に向け、さらに強い精神力を鍛えるべく日々の練習を行うのみだと思えます。

三年 大須賀 将徳

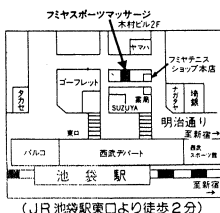
フミカスポーツ・マッサージ治療院

- 各種スポーツ障害(テニスエルボー他)に
- お仕事のお疲れに
- 肩こり、五十肩、腰痛、冷え症、頭重、眼の疲労などに

《池袋本院》

《高輪分院》

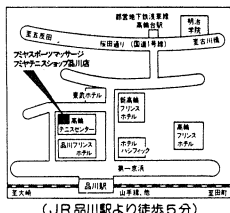
倉光哲プロの専任トレーナーがテニスエルボーや筋肉疲労などの各種スポーツ障害をとりぞき回復させます。ぜひ一度ご来院下さい。



営業時間: 9:00~20:00 (予約制)
休診日: 日・祝祭日

☎3971-3079

☎3442-7171



営業時間: 11:00~20:00 (予約制)

☎5669



大日本法令印刷株式会社

本社工場 長野市中御所町3-6-25
TEL (0262) 28-1113 (代)
支社工場 東京都港区西新橋3-6-10
TEL (03) 3434-8641 (代)

一年を振り返って

元主将 増田哲也

何事にも積極的で又、熱中しやすい性格である私は、小学校5年からテニスを始め、中学時代全国でダブルス3位になってから本格的にテニスに取り組みようになりまして。

高校時代は、練習する相手がいなかったため、テニスクラブに週3回通わせてもらうように頼んだのですが、その希望が通らなかったため、現在はそのようなことはないらしいが、部活動を2年のときにやめてしまいました。そしてジュニア育成クラスのあるテニスクラブに毎日通っていました。しかし主将を務めた中学時代と比べ、大好きなテニスだけに専念することができた高校時代は部活動以外の違った角度からテニスを見つめることが出来、自分のテニスに大きく役立ったと思っております。

退部すると共にインターハイ出場の夢は絶たれてしまった訳ですが、その時点で既に、立教大学体育会庭球部に入学する決意は固まっていたんです。

大学では主将を務めチームを引っ張りまわってきた訳ですが上級生が自ら下級生の仕事を手伝い、言って聞かせるよりも見て聞かせるという指導法で部員間の繋がりを強固なものにしていくと日々努力してきました。

テニスはメンタルな部分が勝敗を大きく左右するスポーツですが試合を投げ出すことは負けを意味することを身をもって体験しました。体に恵まれた訳でもなく特別な才能があった訳でもない私にはただひたむきに努力することしかありませんでした。その中で失敗を何度も経験し挫折を味わううちに一つの成功を掴むという喜びは何事にも代えられないものでした。その成功の一つといえる、大学時代の特に印象深い試合は、私が二年のときのリーグ戦の、東海大学との試合です。ポイントが4対4で自分がかかり、ファイナルセットタイブレーク4-6のダブルマッチポイントから4ポイント連取して勝ち、チームを勝利に導きました。もし努力するということが一つの才能であるならば、それは自分自身の

大きな財産になったと思います。今年の成績は、去年に引き続き降格してしまいました。個人と教員としては全日本学生選手権に出場することが出来、多少なりとも満足しております。又個人的なことになりますが金銭面で両親に迷惑をかけたのがあったので、家庭教師とテニスのコーチをして生活費をまかなうてきました。今更を振り返ると、精神的にも肉体的にもかなり苦しいものがありました。そこで得たものは、人間関係の大切さ、全力でトライすることそして失敗は成功の第一歩であり、「失敗」をマイナスイメージからプラスイメージとして考えられるようになったことです。

私は今年一年で、今の時代に合った立教大学庭球部を再建するために様々な改革をしてきたつもりです。その良い結果が今年一年生が十一人入ったことと、私がやってきたことに悔いはありません。4部に降格しましたが、それはこれからの立教テニスが成功するための第一歩を踏み出したと考えてみてはどうでしょうか。来年は必ずやります。OBの皆様、どうか暖かい気持ちで現役を見守って下さいます。

そして部員みんな、今まで俺を助けてくれてありがとう。今更で最高の代であったと確信しています。そして最後に、金子!!頑張れよ。練習行かない!!健闘を祈る!!

平成三年度ART発行の季節となりましたが、OB諸兄の皆様如何にお過ごしでしょうか。私、本年度主将を務めさせて頂き、法学部国際比較法学科三年、金子誠です。宜しくお願ひ申し上げます。

今年のリーグ戦も四部に降格し、残念な結果に終わってしまいました。このリーグ戦を振り返ってみると、順天堂大戦を除く五戦はどれも僅差でした。接戦になりながらも負けてしまった理由を私なりに考えてみますと、やはりダブルスの力不足が原因だったと思います。ダブルスで勝越したのはたったの二

試合しかなく、後のシングルの試合にプレッシャーがかかることが多かったと思います。したがって今年はダブルス形式の練習を重点的に行い、強化を計ろうと思っております。

また今年には新入部員が十一人も入り、テニス部に活気が出てきました。立教高校テニス部からも五人入ることができ、高校テニス部から大学テニス部へというレベルが出来たといえます。今後高校テニス部とは合同練習等を数多く行い、より一層交流を深めていきたいと思っております。

さて、部員数の揃った今、我部はどうすれば三部へ昇格することが出来るのかというのが大きな問題であります。私は各個人個人の競争力を高めることで部を強くし、この問題に対処したいと思っております。我部には抜きん出て強い者はもういません。全員の実力が迫りつつあるのです。一人一人が「俺がレギュラーになるんだ」という気持ちを持たなければなりません。そのために私はランキング制度を徹底的に取り入れようと思っております。部内で多く試合を行い、ランキングを付けます。そして月に二度ランキングの入替え戦を行います。このようにすればレギュラーはいつメンバー落ちるかかわりませんし、ノンレギュラーがレギュラーになる可能性も十分にあり得るようになります。部員同志に不足しがちである闘争心を養い、メンバーはその地位をさらに高めることができます。このようにして全体のレベルを上させ、チームを強くしていきたいと思っております。

ところで今年、「上を向く」ということをモットーにしたいと思っております。我々は常に上を向いていなければなりません。資格者を目指し、王座を目指し、試合中どんなに負けていても決して下を向くことはなく、上を向いていれば最後には必ず勝つと心に固く信じています。最後に、我々がこうしてテニスをやっていくのも、偏見にOBの皆様のお陰です。本当に有難うございます。本年度も何卒、一層の候指導の程、宜しく御願ひ申し上げます。

平成二年度

定期戦結果

同立定期戦

九月二十四日

於 立教大コート
本学4 (D2-1) 5 同志社
S2-1 4

明立定期戦

十一月二十五日

於 明治大コート
本学1 (D0-3) 8 明治大
S1-1 5

関東大学対抗

選手権大会

四年 斎藤 仁丸

平成二年度より関東大学対抗選手権大会(秋季リーグ戦)が始まりました。

これは春に行われているリーグ戦と異なり、三校対抗リーグ形式の予選から勝ち上がった大学と決勝トーナメントストレイトインの大学が優勝を目指して戦います。ただし、メンバーポイント(例インカレ2点、関東学生1点)及びリーグポイント(一部3点2部2点3部3点)を有する学校で上位20校しか出場できません。シングルス3本ダブルス2本の5ポイントで争い、単複メンバーの重複出場は出来ません。

今大会は平成2年10月10日、14日、11月3日、4日に行われました。本学の結果は左記の通りです。

- 男子予選リーグ
 - 本学 1-4 法政大
 - 本学 1-4 筑波大
- △この結果本学はBグループトーナメントへ
- Bグループトーナメント
 - 1回戦
 - 本学 2-3 上智大
 - 5-8位決定戦
 - 本学 1-4 東海大
 - 本学 4-1 明星大
 - △この結果本学はBグループトーナメント7位

新副将 保泉 敦

新主務 深澤 伯亮



情報と文化の新しい流れを
創りつづけて86年



上野運輸グループ主要会社

創業 123年

- | | | |
|--------------|----------------|---------------------|
| 株式会社上野運輸商会 | 三光石油株式会社 | オクサリス・ SHIPPING Inc |
| 東邦海運株式会社 | 株式会社ワイ・エス・ケー | ウエノ・ストルト・タンカーズ Inc |
| 上野ケミカル運輸株式会社 | 上野興産株式会社 | 株式会社ラック・コーポレーション |
| 上野輸送株式会社 | 伊勢湾防災株式会社 | 上野ビルメンテナンス株式会社 |
| 上野石油倉庫輸送株式会社 | 上野マリン・サービス株式会社 | 日本ハウジング株式会社 |
| 旭日通産株式会社 | 中部マリン・サービス株式会社 | 京都サザンテニスクラブ |
| 旭菱石油株式会社 | 西部マリン・サービス株式会社 | 上野システム開発株式会社 |

第一法規出版株式会社

本社 〒107 東京都港区南青山2-11-17
TEL.(03) 3404-2251 (代)
支社 札幌/仙台/長野/名古屋/大阪/広島/高松/福岡
営業所 沖縄

合同練習会

二年 後藤 孝

平成二年度の合同練習会は、十一月二十三日と二十日、二回にわたって行われました。十一月の合同練習会は、小生から大学生まで参加する例年通りのものでした。さらに数名のOBの方々にもいらっしやうて頂きました。

午前中は各コートで球出しの基礎練習をし、午後は、大学生のレギュラーは後日に対抗戦をひかえていた為に新学院コートで練習をし、それ以外の者はダブルスのトーナメント試合を行いました。なかでも高校生の活躍が目立ちました。

二月の合同練習会は、中学、高校生の一部と、大学生によって行われました。

午前中には基礎練習をし、午後は、実戦を想定した練習や、シングルス、ダブルスのマッチを行いました。シングルスでは倉光監督自らが、中、高、大学生と試合して下さいました。ところで、本年度からの練習会の回数が増えました。これは、ここ一、二年低迷している大学や、最近以前成績のおもわしくない高校が、この練習会を通して有能な後輩を一人でも多くテニス部に入れるためです。これからは、年二回は言わず三、四回行い、タテの継がりをより深めれば、「立教のテニス」の時代が再び到来するだろうと思います。

柳内 崇 主将

鋭いショット、鋭い眼光で相手を圧倒する立教のナンバー1柳内さん。主将として私達を一生懸命リードして下さいました。リーグ戦打上げでの胸上は一生忘れません。

就職先 リクルート

平井 智武先輩 主務

一食に行けば必ずと言っていいほどの方がいらっしやいました。まさに一食の主平井さん。ガッツのあるテニスで、主務でありながらもレギュラーの座を獲得されたのは偉大なことです。

就職先 伊勢丹

小田 真義先輩 副将

練習が終わって着替えているといつも小田さんのシブリーズの香りがしてきました。長期間関東学生資格をキープし、速いサーブを武器にリーグ戦に於いて活躍されました。

就職先 渋谷女子高校

河村 準哉先輩

テニス部のムードメーカー河村さん。練習中は私達を叱咤激励し、練習が終われば得意のギャグで疲れ切った私達の心を和ませて下さいました。就職は銀行で大変でしょうが、女でハマらないように気を付けて下さい。

就職先 三和銀行

多田比呂哉先輩 学連

BMW。端整なルックス。関東学生テニス連盟幹事長という大役を果たした多田さん。しかしそのプロフィールから思いも寄らず、飲み会になるとたちまちスパーな盛上げ役となっていました。

就職先 伊勢丹

丹司 均先輩

まさに「カッコイイ」ということのできる男、丹司さん。その容姿に下級生の僕達はジェラシーを覚えたものでした。いつもいい兄貴のように僕達の面倒を見て下さり、色々とお世話になりました。

就職先 JAS

戸田 雅道先輩

テニスを見る眼が鋭く、私達に適確なアドバイスをして下さった戸田さん。しかし人を見る眼も鋭く、かなり露骨な発言も就職されても持ち前の精神力で頑張ってください。

就職先 東京海上



新入生紹介

一年 青崎 琢弥

立教高校出身、法学部法学科二年、青崎琢弥です。高校時代はテニス部に所属していました。ストロークプレーが得意ですが、サーブやネットプレーを強化し、多彩な攻撃ができるプレーヤーになりたいと思っています。宜しくお願いします。

一年 太田 治

東京都立石神井高校出身、社会学部産業関係学科一年太田治です。テニスを高校三年間続けました。大学の練習は厳しいですが毎日の練習で体力面を中心に強化したいと思っています。宜しくお願いします。

一年 小侯 光司

立教高校出身、社会学部社会学科一年小侯光司と申します。テニスの目標は、リーグ戦のレギュラーを取り、精一杯頑張る立教の名を少しでも上げる事です。OB諸兄の皆様、宜しくお願致します。

一年 酒本 大輔

都立青山高校出身、経済学部経営学科一年酒本大輔です。私は高校時代部活でテニスをやっていた。これから四年間、立教大学庭球部の一員として自覚を持ってやっていきたいと思っています。どうぞよろしくお願致します。



ディナーBAR "椿" 池袋西口 (ときわ通り) 沿い

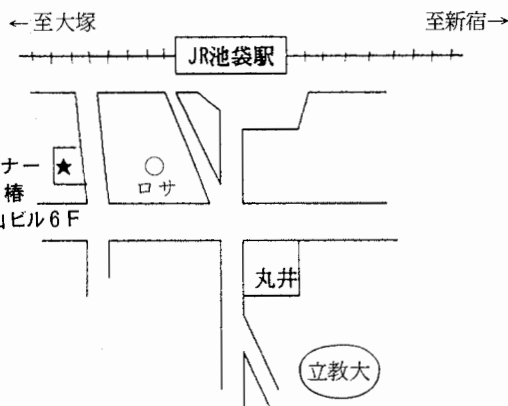
にオープン!!

落ちつきのある本格派BARコーナーと予約制のステーキのディナールームをもうけ食事とお酒がゆっくり楽しめます。ご家族でのお食事、会社での会合等貸し切り20名様までご利用下さい。

営業時間：PM5:00～AM2:00

日曜・祭日定休

豊島区池袋2-41-2 葉山ビル6F
☎ 3590-3050 54年卒 秋元英晴



- ◎タクシーのご用命は当社加盟
カードシステム採用の東京無線グループへ
(カード会員募集中、問合せ ☎ 3318-0951)
- ◎東京無線グループのタクシーは
安全・迅速・快適・親切がモットーで全社一丸
(無線配車センター ☎ 3330-1111)
- ◎大事なお客様の送迎は当社の高級ハイヤーで
(配車、料金等問合せは ☎ 3265-0771)
- ◎ドライバー大募集中
月収45万円以上で人生をエンジョイノ
生涯設計を若いうちに確立して自立にチャレンジノ

東京都新宿区東五軒町3番3号
☎ (3269) 3281
公和自動車交通株式会社
代表取締役 山中博司 (36卒)

立教大学体育会庭球部名簿

Table with columns: 学年, 学部, 学科, 役職, 氏名, 出身校, 〒, 住所, 電話. Lists members of the tennis club with their details.

一年 曾我石 次郎
立教高校出身、法学部国際比較法学科一年、曾我石次郎です。私は、立教高校テニス部で三年間テニスを続けて参りました。大学ではレギュラーとなり、リーグ戦で一つでも多くポイントを取り、立教の勝利に貢献する選手になりたいと思います。

一年 中川 孝博
東京都私立海城高校出身、社会学部社会学科一年の中川です。高校時代は部活をやっていませんでしたが、練習について行くのが一杯というのが現状です。テニスは全くの初心者ですが、毎日学ぶことが多く大変ですが、これからもガンバって行こうと思います。

一年 羽鳥 貴也
立教高校出身、文学部英文文学科一年、羽鳥貴也と申します。テニスの目標は、攻撃型プレイヤーになり、相手にスキを見せないテニスをすることです。尊敬するテニスプレイヤーはアンドレ・アガシです。一生懸命頑張りますので宜しくお願いします。

一年 原 哲也
立教高校出身、法学部法学科一年、原哲也です。宜しくお願ひ致します。今現在、下級生の仕事をしっかりと、上級生がテニスだけに打込められるよう、下から盛り上げて頑張っている次第です。テニスもレギュラーを目指し頑張ります。

平成三年度 新幹部紹介
平成三年度の新幹部が左記の様に決定致しましたので御報告申し上げます。
主将 金子 誠 (3413) 2964
主務 深澤 伯亮 (0429) (58) 0130
副将 保泉 敦 (3901) 0751
副務 後藤 孝 (3996) 9408

編集後記
第八号を発刊するに当たりましてまず大変お忙しいところ無理を申し上げ原稿をお願いした先生方、会長、監督、そして毎回広告の御協力を頂くOBの方々、本当に有難うございます。不手際な点が多々あり、関係各位には大変御迷惑をおかけ致しました。本号は先号に引き続き思わしくない記事を掲載することになってしまいました。部が新たにスタートしたことは大変喜ばしいことです。次号では必ずや明るい記事が紙面を埋め、OB諸兄の皆様が喜んで頂けることと思っております。今後共同卒御指導御協力賜わります様、御願ひ申し上げます。

optics house of アイファッションと難しいメガネの専門店
王子ガネ
〒114 東京都北区王子1-9-1 電話 3913-1549

